

リスクマネジメントの高度化のための 経営リスクの『計量化』・『見える化』手法

～ 財務経理部門、企画部門、監査部門、法務部門など
関連部門のご担当がおさえおくべきリスクマネジメントとは ～

【開催要領】

- 日 時● 2015年 3月27日(金) 13:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師

東京国際コンサルティング株式会社
代表取締役 小黒 直樹 氏



講師紹介

早稲田大学理工学部卒、早稲田大学大学院理工学研究科修了。大手邦銀に入行後、市場リスク・ALMなど先端的なリスク管理体制の構築、リスク管理実務に携わる。国際的監査法人グループ KPMG のコンサルティングファームを経て現職。大手事業法人や金融機関に対して、リスクヘッジ手法を含むリスクマネジメント体制の構築、計量化手法のアドバイス等のリスクマネジメントに関するコンサルティングを数多く手掛けている。(社)日本証券アナリスト協会検定会員。基本情報技術者。

【開催にあたって】

2008年の金融危機以来、各種市場の変動性や取引先倒産リスクの上昇など、企業を取り巻く経営・財務リスクがより大きくなっています。これを受けて、企業経営の安定化を図るため、各種のリスクを適切に把握・評価し、管理するリスクマネジメントの重要性がより一層高まっています。本セミナーでは、今企業に求められるリスクマネジメント手法の基本を概観した上で、経営上のリスクを体系的に整理し、把握・活用する体制と手法を解説します。具体的には、為替変動リスク、有利子負債の金利変動リスク、有価証券の変動リスク等の市場リスクから、取引先等の破たんリスク(信用リスク)、オペレーショナルリスク(事務、コンプライアンス、不正)等を対象とし、各々のリスクの特徴と管理方法について説明いたします。特に、適切なリスクマネジメントの前提となるリスクの見える化手法について、リスクを種類毎に分別した上で、客観的に計量化可能なリスク、数値化が困難なリスクの概念と管理手法、見える化したリスク数値の活用方法について実務的に解説いたします。

【申込書】一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

141798-0202 リスクマネジメントの高度化のための経営リスクの『計量化』・『見える化』手法			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

- 参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】)
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31M Tビル 2F

リスクマネジメントの高度化のための経営リスクの『計量化』・『見える化』手法

3/27
(金)

13:00

1. 企業経営とリスクマネジメントの基礎理論
 - (1) 企業経営におけるリスクマネジメントの目的
 - (2) リスクマネジメントの基礎的な考え方
 - (3) リスクの分析と評価の考え方
 - (4) リスクのカテゴリーと管理手法
 - － 数値化可能なリスク
 - － 数値化困難なリスク
2. 数値化困難なリスクの見える化手法
 - (1) リスクアセスメント (CSA: Control Self Assessment)
 - (2) リスクの計量化への取組み
 - (3) リスクのマネジメント方法概観
 - － CSA、KRI (Key Risk Indicator)、自主点検の活用方法
 - (4) シナリオ分析とその活用
3. 数値化可能なリスクの見える化手法(リスクの計量化手法)
 - (1) 定量的なリスクの見える化が可能な分野
 - (2) 各種リスクの見える化手法概観
 - (3) 統計額・確率論を用いた具体的なリスクの見える化手法
4. 見える化したリスクのリスクマネジメントでの活用方法
 - (1) リスクの限度管理によるリスク顕現化前の事前対応
 - (2) 経営体力とリスクの関連付けによるリスク許容度、経営戦略への活用
 - (3) リスクを考慮した主要経営指標(目標)の設定と活用
5. 見える化手法の限界とその補完
 - (1) 統計的な計量化手法の限界
 - (2) 定性的評価方法の限界
 - (3) ストレステストとシナリオ分析の有用性

17:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。